

平成22年度事業報告

当事業団は、廃棄物による環境汚染の防止の支援に取り組むとともに適正な廃棄物処理の促進を図るため、公共関与による廃棄物処理施設として「エコフロンティアかさま」を運営管理し、安全性の確保を最重点に一般廃棄物及び産業廃棄物の受入れを推進し、関係法令等を遵守した適正な処理を行うとともに、廃棄物処理状況等の情報発信、啓発普及に取り組む、県民の快適な生活環境の向上に努めた。

I 一般会計

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催日・場所	議題等
平成22年5月10日(月) 書面表決	評議員の選任
平成22年5月24日(月) 於：開発公社ビル	事業報告, 収支決算
平成23年3月29日(火) 書面表決	最終補正予算, 事業計画, 収支予算

(2) 評議員会

開催日・場所	議題等
平成22年5月10日(月) 書面表決	役員を選任
平成22年5月24日(月) 於：開発公社ビル	事業報告, 収支決算
平成23年3月29日(火) 書面表決	最終補正予算, 事業計画, 収支予算

2 市町村等に対する助成・支援事業

(1) 最終処分場周辺施設整備助成事業

該当なし

(2) 環境調査等助成事業

該当なし

(3) 環境汚染対策等支援事業

該当なし

(4) 不法投棄撤去助成事業

該当なし

(5) 有効利用促進助成事業

該当なし

(6) 臨時的緊急対策事業

県内に放置されている有害廃棄物の撤去・処分を目的として、県が創設した「茨城県有害廃棄物等撤去基金」の造成に対し、出えん金を支出した。

○ 出えん額：5,000,000円

Ⅱ エコフロンティアかさま特別会計

1 廃棄物処理事業

(1) 一般廃棄物処理事業

- ・ 笠間市（笠間地区内）から収集された生活系ごみを受入れるとともに、市民の持ち込みごみについては毎週土曜日及び年末の受入れを行った。
- ・ 最終処分場を持たない市町村及び一部事務組合から発生する燃え殻や不燃残さの受入れを行い、自治体が行うごみ処理を支援した。
- ・ 笠間市他から東日本大震災により発生した災害ごみ（がれき類、生活系ごみ等）の受入れを行った。

(2) 産業廃棄物処理事業

① 熔融処理

廃プラスチックや木くず等の可燃物及びばいじん、感染性廃棄物、廃石綿などの有害な産業廃棄物を受入れ、熔融して無害化を図った。

② 埋立処理

燃え殻やがれき類等の産業廃棄物の埋立を行い、適正処理を進めるとともに、県内では受入れが困難となっている石綿管やスレートなどの非飛散性アスベストを含む廃棄物の受入れを行った。

○平成22年度廃棄物受入量

(単位:ト)

処理方法等			受入量
熔融	一廃	笠間市	8,955
		その他市町村等	8,738
	産廃	一般熔融廃棄物	14,410
		医療系廃棄物	308
		廃石綿類	66
小計			32,477
埋立	一廃	笠間市	1,095
		その他市町村等	13,660
	産廃	一般埋立廃棄物	132,688
		非飛散性アスベスト	1,946
	小計		

(3) リサイクル・有効利用の実施

熔融後に発生するスラグは、最終処分場内で保護材として有効利用し、メタルは金属材料として売却した。

また、熔融処理の際に発生する高温の排ガスを利用して高効率発電を行い、余剰電力を売電した。

2 廃棄物処理施設運営管理事業

(1) 溶融処理施設、最終処分場及び浸出水処理施設の適正な管理運営を図った。

なお、溶融処理施設の運転管理をJFE環境サービス(株)に、最終処分場の管理を(株)さしろに、浸出水処理施設の運転管理を共和化工(株)にそれぞれ委託した。

(2) 施設運営に伴う生活環境への影響を把握するため、周辺環境モニタリング調査、現況保全地における動植物調査等を実施するなど、良好な環境保全並びに施設等の安全性の確保を図った。

○ 周辺環境モニタリング調査

大気調査 : 周辺大気(3箇所・年4回)、連続監視(2箇所)

騒音・振動調査 : 交通、環境(3箇所・年4回)、施設騒音・振動(6箇所・年1回)

水質調査 : モニタリング井戸(4箇所・年12回)、河川水質(2箇所・年4回)

他に悪臭調査、底質調査、土壌調査等を実施した。

○ 現況保全地における動植物調査

オゼイトトンボ、ハッチョウトンボ、シラン等の調査を実施し、一層の保全を図った。

(3) 環境保全委員会の開催

環境保全委員会を開催し、環境モニタリング結果等の分析評価を行ったほか、現況保全地ワーキンググループを開催し、現況保全地の保全対策などを検討した。

○ 環境保全委員会 : 平成23年3月27日(日)開催

3 啓発普及事業

エコフロンティアかさまの施設運営推進等に資するため、地域住民向けに啓発普及事業を実施するとともに、排出事業者、視察者などに対しても運営状況等を説明し、廃棄物の適正処理施設としての啓発普及活動を実施した。

さらに、管理棟2階の環境学習施設(展示コーナー)では、常時見学を受入れ、環境学習全般の啓発普及に努めた。

○ 見学者実績 : 131団体1,562名

4 地元相談・調査事業

地区役員、住民に対して、エコフロンティアかさまへの理解を深めるため、説明会及び先進地視察を実施した。

5 地域振興等事業

福田地区の地域振興を目的とする地域振興交付金を笠間市に交付し、福田地区の合併処理浄化槽設置工事費、防犯灯電気料補助などの事業を実施した。

また、福田地区の各行政区が実施するコミュニティ活動の費用を環境保全事業団が助成した。

(笠間市事業)

- 合併処理浄化槽設置工事費補助 5人槽 … 2基
- 6～7人槽 … 3基
- 8～10人槽 … 2基

- 防犯灯電気料補助 9基分

(事業団実施)

- コミュニティ活動費 5行政区 147名

6 情報公開

排ガス、放流水等の計測値を表示板（電光掲示板）に掲示し、住民への情報公開に努めるとともに、ホームページに処理状況等を掲載し、広く情報公開を図った。

7 訴訟対応

平成16年11月1日に提訴された廃棄物最終処分場等建設差止請求事件（平成16年（ワ）第572号）については、原告らの請求を棄却する判決が出され、これを不服とした原告らは、平成21年6月30日に東京高等裁判所に控訴したため、第1審同様、片桐章典弁護士ほか5名の弁護士を訴訟代理人に委任し、当事業団の主張・立証を行った。

その結果、平成22年7月15日に控訴棄却の判決が出され、原告の上告がなかったため、判決が確定した。

- 1審判決 : 平成21年6月16日
- 控 訴 : 平成21年6月30日
- 口頭弁論 : 平成21年11月12日（第1回）
平成22年 1月21日（第2回）
平成22年 4月22日（第3回）
- 控訴審判決 : 平成22年 7月15日
- 判決の確定 : 平成22年 7月29日